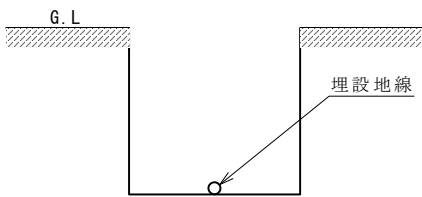


PERCOM 施工説明書

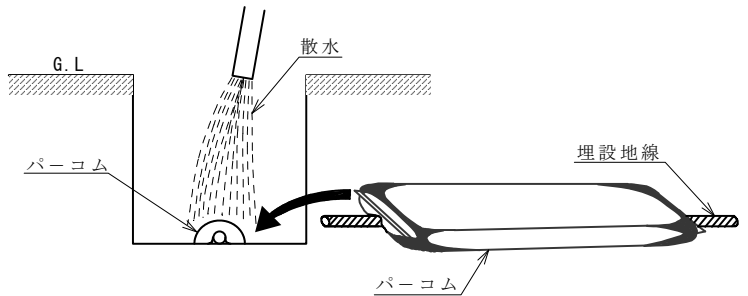
【施工方法】

★埋設地線との併用法

①所定の掘削溝に埋設地線を布設して下さい。



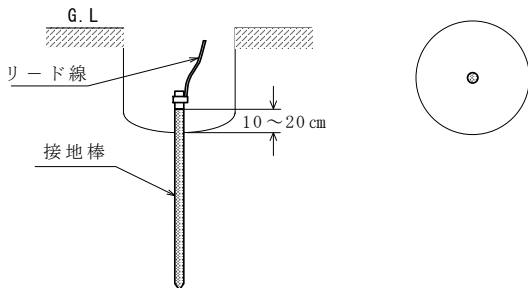
②埋設地線の上にパーコムを敷設し、上から水を万遍なく掛けて下さい。この時、水溶性フィルムが膨潤・溶解し、内容物が露出していることを確認して、接地抵抗を測定して下さい。



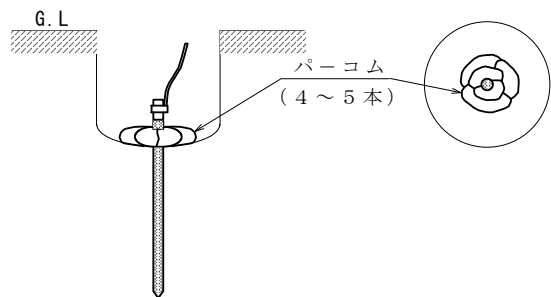
③土を埋戻して再度接地抵抗を確認して下さい。

★接地棒との併用法

①所定の穴に接地棒を打込みます。この時リード線を接続しておいて下さい。



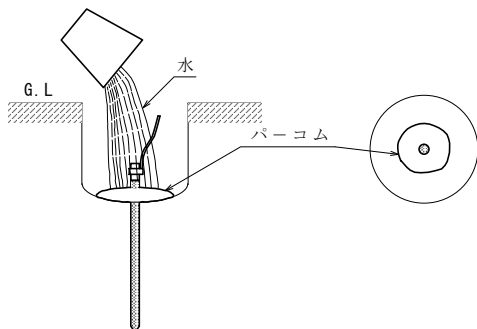
②パーコム (4~5本) を接地棒に巻き付けます。



③パーコムの上からバケツ約半分の水を万遍なく掛けて下さい。

この時、水溶性フィルムが膨潤・溶解し、内容物が露出していることを確認して、接地抵抗を測定して下さい。

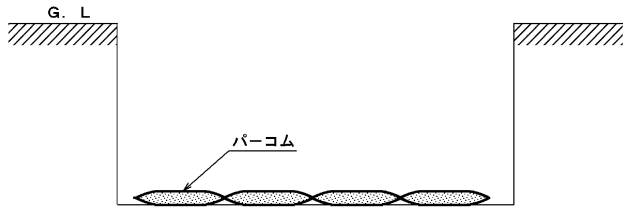
(フィルムが溶解していないパーコムがあれば、接地棒等でフィルムを破っていただければより一層効果的です。)



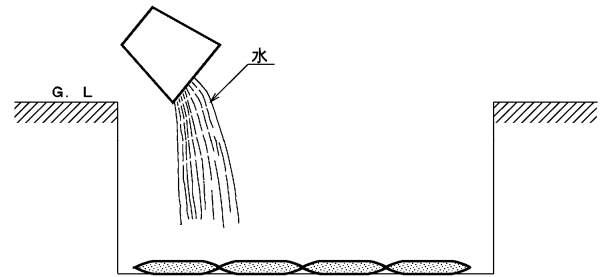
④土を埋戻して再度接地抵抗を確認して下さい。

★接地銅板(900×900)との併用工法

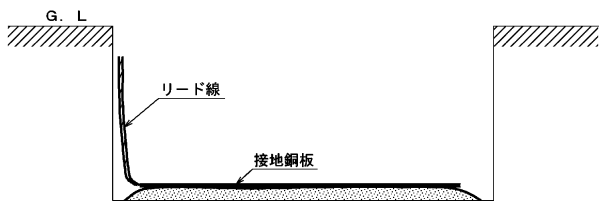
①所定の穴にパーコムを袋のまま(約20本)敷設して下さい。



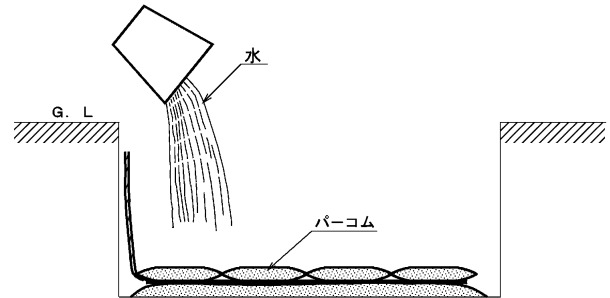
②敷設したパーコムの上から水を万遍なく掛けて下さい。



③敷設したパーコムの上に接地銅板を布設して下さい。



④布設した接地銅板の上にパーコムを袋のまま(約20本)敷設し、水を万遍なく掛けて下さい。この時、水溶性フィルムが膨潤・溶解し、内容物が露出していることを確認して、接地抵抗を測定して下さい。



⑤土を埋戻して再度接地抵抗を確認して下さい。

※フィルムが溶けにくい場合は散水後しばらく放置し、再度パーコムの上から散水して下さい。フィルムが膨潤・溶解して内容物が露出します。

【注意事項】

●水濡注意

濡れた手でパーコムに触れないようにして下さい。

(水濡れしますと水溶性フィルムが溶け、内容物が飛散します。)

※特に、降雨時の作業には注意して下さい。

●保管

残ったパーコムは、内装ポリ袋に入れて袋の口を封じて保管して下さい。

DAIHEN 株式会社 **ダイヘン**

大阪市淀川区田川2丁目1番11号